

地域貢献・連携研究会（2010年度キックオフ会議） 議事録

日 時：平成22年5月27日 18:30～20:00

場 所：日本橋事務局

参加者：（敬称略）鍵屋、山口、小原、寿乃田、石井、磯打（議事録担当 石井）

議 題：

1、 地域安全学会 プレゼン、ポスターセッションの発表報告

総括：BCPの地域貢献を包括的に研究していることに高い評価を得た。

添付資料「事業継続計画（BCP）における地域貢献・連携の研究」に基づき発表を行ったが、特に6の企業の本来業務や強みを生かした地域貢献・連携については反響が大きかった。

また、図7企業にとっての地域貢献・連携の意義は分かりやすいと評価を得た。

各業種の事例を充実させること、自治体を核として地域の異業種の企業が連携する可能性、ノンプロフィットの企業には特にPR効果があるのではないかと指摘があった。

今後の研究の方向性

企業の本来業務や強みを生かした地域貢献・連携について

表2（平常時、緊急時、復旧、復興として業種ごとに具体例）を纏めたが、事例は推論になっているので、事例を集めて分析することに取り組みたい

方法はアンケートにより行う。

アンケートの依頼先

・JC、BCAOメンバー、東京商工会議所

（意見）

中小企業はまちばの地域貢献について、BCという見方ではなく防災的な活動で地域貢献できることしていること・していることと考えている。

・アンケートの考え方

（具体的に記載） やっている やれそう やれない フリーアンサー

事例・・・

事例・・・

事例・・・

・フリーアンサーで業種は特定できるので業種はなくす。答えやすいはず。

- ・ 平常時と災害時と2つのアンケートをとる
- ・ 表題「災害時の地域貢献活動について調査しています。」

合宿で行うべきこと

アンケート案の洗い出し、アンケートの作成を添付資料「一般的地域貢献・連携活動 記載事例案」、「本業活用型地域貢献・連携活動 記載事例案」より行う。

各自検討し持ち寄ることとする。

平成22年7月3日・4日に作業を行う。

(磯打さん、遅れて参加)

発言のメモ書き(順不同)

- ・ 首都直下地震は手強い
= 阪神ではなく、阪神+
昼に起こったら帰宅問題と重なり、×2でなく二乗・・異次元の出来事
準備は阪神の延長ではない。発生後冷静に何ができるか

- ・ 土業の緊急対応チームを作ろう

専門家(土業)にもアンケートを出す

土業は復興チームを作ろう

1週間後からチームは何ができるか

災害直後にはできないが、1週間後に対応します。

- ・ コーディネーターが重要

経験をもっていないから、現場は直感になってしまう。

- ・ BCPスピリットチーム

- ・ 1日前プロジェクトから1週間前プロジェクト

(明日地震が来るなら、今日何をしますか?)・・できることは限られるが

1週間前プロジェクト

(1週間後に地震が来ます。今日から何をしますか?)・・できることは格段に多くなる

- ・ 行動規範

良き企業人のまえに良き社会人であれ

良き企業人のまえに良き地域住民であれ

地域貢献に行動規範を盛り込みましょう

以上